

熊本市地域包括支援センター連絡協議会実務者研修会等について

チャレンジ！ささえりあ2019（令和2年1月29日開催）

定期で開催している熊本市地域包括支援センター連絡協議会研修部会の実務者研修の一環として実施。

本年は、多様化する課題の解決に向けて、各地域包括支援センターの取組事例を共有化するため、ポスターセッションを通して意見交換を行い、優良事例（5事例）の選出を行った。さらに、選出された事例はプレゼンテーションを行い、優良事例の共有化とプレゼンスキルの向上を図った。

（1）参加者

ささえりあ、区役所福祉課、まちづくりセンター職員

（2）結果（優良事例）

○ささえりあ浄行寺

『認知症声かけ訓練、今年もやるの？～演劇の手法を活かした訓練～』

⇒「熊本県立劇場」協力のもと、認知症声かけ訓練を校区社協と企画。役者さんの力を借りて、認知症の対応と認知症高齢者役の役づくりを実施。

○ささえりあ白川

『空きテナントを交流拠点へ～集いの場以外の活用～』

⇒ショッピングセンターの空きテナントを交流拠点へ。いきいき百歳体操や健康講話、健康ウォークラリーを実施。（大江・白川校区社会福祉協議会主催）。

○ささえりあ水前寺

『認知症予防支援部会の再始動』

～認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して～』

⇒単発で繋がりが薄かった校区の認知症予防支援部会を再編成し、認知症に関する啓発や、協力事業所との連携、認知症サポーター養成講座の充実を実施。

○ささえりあ井芹

『早い！易い！上手い！井芹屋の情報』

⇒職員一人一人が社会資源情報の詳細を把握し、提供できるようにするため、情報管理・活用のためのツールを作成。スムーズな市民対応を実現。

○ささえりあ天明

『実現！多職種プロによる「チーム・ケア」』

⇒地域ケア会議の助言者が対象者宅に同行訪問するシステムを構築、地域活動の担い手の全町内配置等の実現。

